

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：西海ブロック

ツクシトビウオ

海域	東シナ海佐賀・長崎・鹿児島	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部、長崎県総合水産試験場、 佐賀県玄海水産振興センター、鹿児島 県水産技術開発センター
----	---------------	------	--

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は、調査指針の作成および状況報告書の取りまとめを行った
- ・長崎県、佐賀県、鹿児島県は生物情報収集調査を実施した

(2) データ収集状況

- ・長崎県では、標本漁協や魚市場における月別漁獲量データの整備、5～10月に漁獲された本種の精密測定、本種を含むトビウオ類の飛翔目視観察を実施した
- ・佐賀県では、標本漁協や魚市場における月別漁獲量データを整備、5～6月に漁獲された本種の精密測定を実施した
- ・鹿児島県では、標本漁協における月別漁獲量データおよびトビウオ浮敷網漁船の水揚げ統数の整備、5月および8月に漁獲された本種の精密測定を実施した

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：九州北西岸では、鹿児島県～山口県にかけて春に産卵親魚群が北上し、秋に未成魚が南下することが知られている（一丸・中園 1998）
- (2) 年齢・成長：情報収集中
- (3) 成熟・産卵：GSI（生殖腺発達指数＝生殖腺重量/体重×100）による各月の生殖線の発達状況より、本種の産卵期は過去のデータから5～7月と推察される。産卵場は主に九州北西部の沿岸域と考えられ、成熟年齢は1歳と推察される
- (4) 被捕食関係：情報収集中

(4) 備考

- ・来遊条件の影響も大きいと考えられる本種の場合、資源状態を判断するには情報が不足している
- ・トビウオ類の未成魚は3種（ツクシトビウオ、ホソトビ、ホソアオトビ）を区別せず流通するため、現在の標本漁協の漁獲量調査だけでは本種未成魚の漁獲量を把握するのが困難

引用文献

一丸俊雄・中園明信（1998）九州北西岸におけるツクシトビウオの成熟と産卵. 日本水産学会誌, **65**, 680-688.